

国宝「東寺百合文書」のインターネット公開について

平成26年2月28日
京都府立総合資料館
電話 075-723-4831

京都府立総合資料館では、所蔵する国宝「東寺百合文書」のデジタル画像化に取り組んでいるところですが、この度、インターネット上に約8万画像を公開することとしましたのでお知らせします。公開する画像は、墨の色や紙の質感までもわかるような高細密画像であるとともに、コラム形式の解説文や片仮名を使ったやさしい古文書の読み方などが添えてあり、子どもから大人まで興味をもっていただける内容となっています。

また、トップページの目録情報から簡単に検索していただけますので、是非、パソコンやタブレット端末から「東寺百合文書」に記された中世の京都、中世の日本の出来事を覗いてみてください。

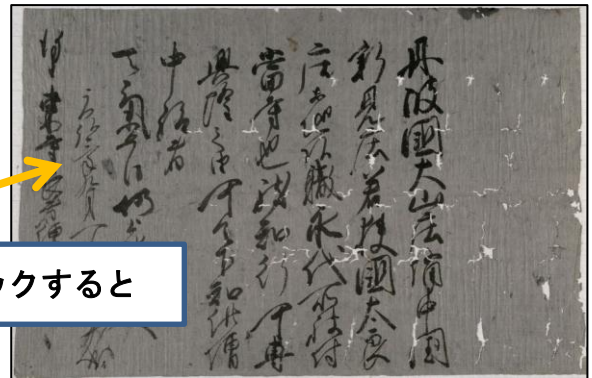
【東寺百合文書とは…】

- ・京都府立総合資料館所蔵。もとは教王護国寺（東寺）に伝えられた文書群で、奈良時代から江戸時代初期までのおよそ1000年間にわたる約2万5千通の文書からなる。
- ・内容は、寺院組織の運営に関連して作成されたもので、寺院運営に関する会議議事録、諸仏事、所領を巡る裁判、所領の経営等に関する書類など多岐にわたり、日本中世史研究上、最も優れた文書史料群の一つである。昭和42年に京都府が文化財保護を目的に購入し、平成9年6月に国宝に指定されている。

【画面イメージ】



【トップページ】



クリックすると

【後醍醐天皇^{ゆきと}綸旨】

※デジタル化等の作業は、民間会社（凸版印刷株式会社）に業務委託し、平成25年1月から平成26年2月まで実施。

- 1 公開内容 東寺百合文書全点のデジタル画像（約8万画像）
- 2 公開URL <http://hyakugo.kyoto.jp/> ※英語対応あり
- 3 公開開始日 平成26年3月3日から順次
 - ・3月3日には約4万4千画像、4月下旬までに全画像を公開予定
 - ・4月下旬までにスマートフォン対応画面を公開予定



4 解説ページ

・「^{ひゃくごうひゃくわ}百合百話」

文書の書かれた背景や出来事をコラム形式で解説した読み物ページ。
東寺の僧侶の人事評価制度や戦乱で失われた書類の再発行、宝物の避難の記録など、現代にも通じる組織・社会の仕組みを垣間見ることができます。

・「Kid' s ひゃくごう」

小学校高学年以上を対象とした解説ページ。
古文書の形式（大きさ、巻物、書状）の違いや昔の地図に残る京都の地名（「桂川」など）の紹介により、視覚的に興味を持てるような工夫がされています。
古文書にフリガナをふることで、どのように読むのかを勉強できるページもあります。

5 検索機能

函名や和暦又は西暦から、約2万5千通の文書の検索が可能。
さらに4月下旬までには、歴史年表や地図から検索できる機能を追加予定。

6 画像の共有・公開

公開画像等は「クリエイティブ・コモンズ 表示 2.1 日本 ライセンス」(CC-BY) で提供します。総合資料館の所蔵であることを表示※していただければ、web上や出版物への掲載、編集・加工することができます。

※表示例：「出典 京都府立総合資料館所蔵 東寺百合文書」等

今後のスケジュール（予定）

平成26年3月 日本ユネスコ国内委員会からユネスコ世界記憶遺産事務局への推薦書提出
平成26年度中 京都文化博物館で「東寺百合文書」展を開催
(4月2日～6月22日)
シンポジウム・連続講座の開催
京都府立大学での研究・高校教育との連携
平成27年5月ごろ 「ユネスコ記憶遺産」国際諮問委員会で登録の可否決定

(参考) ◆世界記憶遺産 (Memory of the World) とは

- ・ユネスコの主催事業として1992年からスタート。
- ・世界各国に保管されている文書や書物、楽譜や手書きの写本、絵画、地図、ポスター、映画などの史料のうち、後世に伝える価値のある動産の記録物を登録・保護することを目的として実施している。
- ・これらの記録物をデジタル化して保存し、誰もが容易に参照することができるようにすることも目的のひとつとされている。

登録総数	299点
【2014年2月現在】	童話作家アンデルセンの原稿、「第9」のベートーベン直筆楽譜 など
国内登録資料	3点 山本作兵衛記録画（福岡県田川市） 2011年5月登録 御堂関白記（陽明文庫・京都市右京区）2013年6月登録 慶長遣欧使節関係資料（宮城県仙台市）2013年6月登録